

# 2017年5月度ハイキング(碓井峠アプトの道)の報告

2017年5月12日(金)お天気上々の中、横川駅から碓井峠の廃線跡をたどるハイキングを行いました。高崎線で高崎まで行き、信越線に乗換え、終着の横川駅までの乗継でした。今回は17名の参加者でのハイキングとなりました。

今回のハイキングコースは以下の赤線のところ

ハイキング行程



- 9:30 ① 横川駅出発
- 9:55-10:00 ② 旧丸山変電所
- 10:20-10:30 ③ 峠の湯
- 10:40 ④ 1号トンネル
- 10:55 ⑤ 碓井湖畔
- 11:15 ⑥ めがね橋
- 11:30 ⑦ めがね橋下
- 11:50 ⑧ 4号トンネル
- 12:05 ⑨ 碓井湖畔着各自昼食
- 13:20 ⑩ 湖畔一周
- 13:45 ⑪ 碓井湖畔出発
- 14:00 ⑫ 峠の湯着温泉
- 14:50 ⑬ 峠の湯出発
- 15:40 ⑭ 横川駅到着解散



9:20 横川駅到着



9:30 アプトの道起点





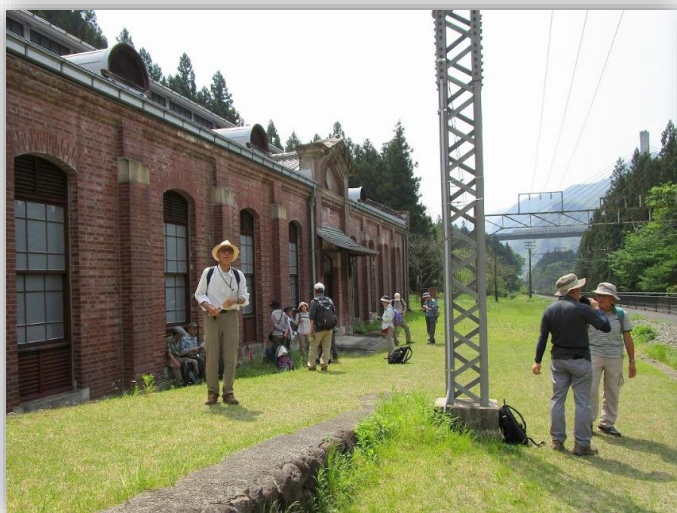
9:35 碓井峠鉄道文化村の展示車両を横に、廃線跡をたどる道へ出発  
 (左側には、鉄道文化村駅と峠の湯駅を結ぶ、碓井峠トロッコ列車線が走る)



9:55 旧丸山変電所へ  
 手前が蓄電池室、奥が交流-直流変換器機械室  
 日本で最初に電化された碓井線の機関車に電気を送るため明治45年に建設された。



小休止



10:00 出発



登り勾配が少しづつ急に...







10:20 天然温泉「峠の湯」へ到着



10:40  
1号トンネルへ 中はヒンヤリ、涼しい風が吹いていました



10:50 2号トンネルへ



2号トンネルを抜けると眼下に碓井湖がみえました。



碓井湖入口で小休止



11:00 3号トンネルを歩く一行

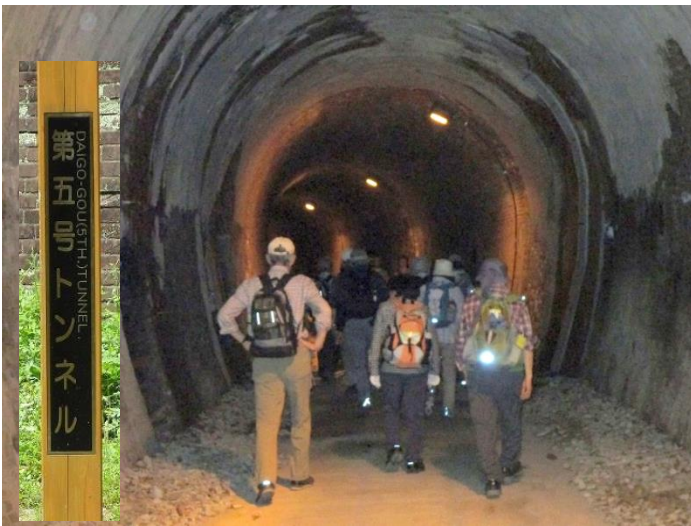




11:05 3号トンネルを抜けると道の傍に猿が...



4号トンネルへ



11:10 5号トンネルへ



11:15 5号トンネルを抜けて「めがね橋」



「めがね橋」を渡って125段あまりの階段を下へ

裏側の下からみた「めがね橋」  
高さ31mの迫力がすごい！







11:30 「めがね橋」を背景に集合写真！



国指定重要文化財 碓氷峠鉄道施設

### 碓氷第三橋梁（めがね橋）

平成五年八月十七日 指定

高崎、横川間は明治十八年（一八八五）十月、軽井沢、直江津間は二十一年にそれぞれ開業しましたが、碓氷線と呼ばれた横川、軽井沢間は、碓氷峠が急勾配のため、路線決定に紆余曲折し、明治十六年（一八九三）四月開業となり、高崎、直江津間の全線が開業しました。

横川、軽井沢間の十二キロメートルは千分の六十六七という最急勾配のため、ドイツの山岳鉄道で実用化されていた、アプト（ヘアプルト）式が採用され、昭和三十八年まで走り続けました。

この碓氷線には、当時の土木技術の粋を集めて、二十六のトンネルと二十八の橋梁が造られました。なかでもこの碓氷第三橋梁は百万個以上のレンガを使用した、国内でも最大のレンガ造アーチ橋です。

安中市教育委員会 会 庁



「めがね橋」から順路を逆に辿って、碓氷湖畔へ戻る。

（碓氷川をせき止めた坂下ダムの人工湖）



12:10~13:15 碓井湖畔にて三々五々、ベンチ、東屋にて昼食をゆっくりと戴きました。



13:20 碓井湖畔一周の散策に出発(そのまま東屋にて休息の方もいました)





13:40 碓井湖から峠の湯へ向かう一行



14:00～14:50 天然温泉「峠の湯」で温泉に入る



15:40 無事、横川駅に到着

今回のハイキングは、お天気に恵まれました。5月直射日光の下では少し暑いくらいでしたが、トンネル内ではひんやりとした風が変わり、汗がスーッと引くのが感じられました。

青葉の季節でトンネルを抜けるごとに色合いが変わり、木々の色々な緑色を堪能することができました。

参加された皆さんお疲れさまでした。

次回(6月2日)は美工の担当で、ポピー畑と吉見百穴の散策です。皆さんのご参加をよろしくお願い致します。

(記: 加藤)